



Arysta LifeScience

春先のいちごの アザミウマの被害には まいったなあ・・・



とお嘆きのいちご農家さんへ

微生物殺虫剤



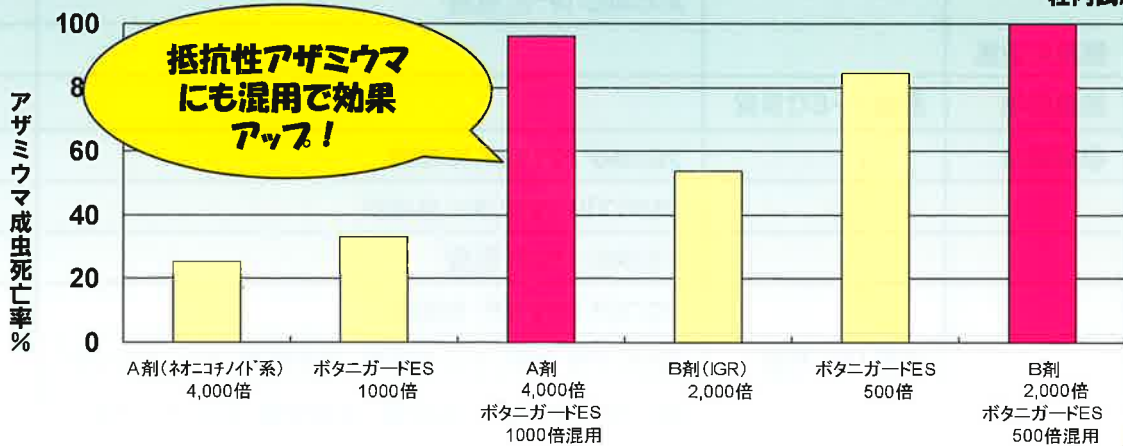
アザミウマによる被害果

ボタニガードESと 殺虫剤との混用が 今、熱い!



ボタニガードESとネオニコチノイド系殺虫剤、IGR剤との混用効果

社内試験データ



体調が悪い時って風邪をひきやすくないませんか？
殺虫剤で弱った害虫が病気にかかりやすくなる...そんなイメージです。



アザミウマ類防除の基本

難防除害虫のためホリバー・ブルーや サイドネットとの併用をお勧めします。



高性能粘着トラップ(ブルー・イエロー)
ホリバー

アザミウマを
シャットアウト!

高性能粘着トラップ(ブルー・イエロー)
ホリバーロール



©はアリスタ ライフサイエンス株式会社の登録商標です。

アリスタライフサイエンス株式会社

ボタニガードESの上手な使い方

外気温が15℃以上となる4月以降を目安に使用してください。

殺虫剤と混用すると湿度はあまり気にしなくてもいいようです。

〇〇〇希釈のコツ〇〇〇

1. カルキ(塩素)を含まない水(井戸水や汲み置きの水)を使用して、バケツ10LにボタニガードES 300mlをよく振ってから加えます。

2. クリーム状になるまで十分にかきまぜ、2-4時間ほど静置して、胞子が膨潤するのを待ちます。

3. カルキ(塩素)を含まない水(井戸水や汲み置きの水)を290L大型タンクに加えておき、予め溶解させたバケツ10L(1.)を入れます。

〇〇〇混用する薬剤がある場合〇〇〇

1. 別容器を準備し、最終濃度を計算し規定容量を溶かします。2. タンクにもどして良く攪拌します。

3. 次の展着剤を加えると効果的です。(クミテン、新グラミン、新リノール、スカッシュ)

静岡東部でのアザミウマ防除例

技術と普及 2011年1月号の表を基に本圃定植以降を一部抜粋

月	旬	作業	生育	殺虫剤	日数
9	下		本圃定植		
10	中	ビニール張り	最低15℃目安	スピノサト'(スピノエース)水和剤+生物農薬(ボタニガードES)	3~7日
	下	マルチ張り	出蕾		
11	上	ミツバチ搬入	開花		
		保温開始	最低10℃目安		
	中			ルフエヌロン(マツチ)乳剤	1日
	下	摘果の徹底			
12	上	加温開始	最低5~6℃目安		
12	中	収穫開始		フロニカト'(ウララDF)水和剤	1日
1	中			アセタミプリド'(モスピラン)水溶剤	1日
2	中			ルフエヌロン(マツチ)乳剤	1日
3	中			フロニカト'(ウララDF)水和剤	1日
4	中		最低15℃目安	アセタミプリド'(モスピラン)水溶剤+生物農薬(ボタニガードES)	1日
5	中			スピノサト'(スピノエース)水和剤+生物農薬(ボタニガードES)	3~7日
6	上	収穫終了	最高45℃を目安に蒸しこむ		

注) いちごに登録のある薬剤で同時防除を含む。日数はミツバチへの影響日数。

いちごでアザミウマ類に対して登録のある薬剤とその特徴

	薬剤名と使用濃度	適用害虫名	成虫/幼虫への効果	*毒性 魚毒性	使用基準	使用回数	天敵影響	ハチ影響日数
①	ボタニガードES 500-1000	アザミウマ類	成虫、幼虫	普A	発生初期	—		
②	スピノサト'水和剤 5000	アザミウマ類	成虫、幼虫	普B	収穫前日	2回以内		3~7日
③	アセタミプリド'水溶剤 2000	アザミウマ類	成虫、幼虫	劇A	収穫前日	2回以内		1日
④	フルフェクスロン乳剤 4000	ミカンキイロアザミウマ	幼虫	普B	収穫前日	3回以内		3日
⑤	ルフエヌロン乳剤 2000	ミカンキイロアザミウマ	幼虫	普A	収穫前日	4回以内		1日
⑥	クロルフルアズロン乳剤 2000	ミカンキイロアザミウマ	幼虫	普B	収穫前日	3回以内		1日
⑦	ノバルロン乳剤 2000	ミカンキイロアザミウマ	幼虫	普B	収穫前日	4回以内		1日
⑧	クロルフェナビル水和剤 2000	ミカンキイロアザミウマ	成虫、幼虫	劇C	収穫前日	2回以内	あり	9日
⑨	アクリナリン水和剤 1000	ミカンキイロアザミウマ	成虫、幼虫	普C	収穫前日	4回以内	あり	2~3日

*: 毒性・魚毒性は原体での評価

問い合わせ先: アリスタライフサイエンス株式会社 IPM推進本部

☎: 03-3547-4415 FAX: 03-3547-4695